

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関係する 主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画, 京都市循環型社会推進基本計画（2009-2020）		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	b	b	895	880	876	99.5%	b	1.00	
2 再生利用率(%)	b	a	23.5	23.5	23.9	98.3%	b	1.00	
3 ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	349	391	350	111.7%	a	1.00	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	125	276	94	34	11	540	a	
	23.1%	51.1%	17.4%	6.3%	2.0%			
2 ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	162	223	101	38	25	549	a	
	29.5%	40.6%	18.4%	6.9%	4.6%			
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
		市民生活実感調査総合評価						a

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている				25年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用, 資源物の回収及びエネルギー回収等, すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため, 客観指標に重みを置く。					24年度	A
(原因分析) 【客観指標】●家庭ごみの7割を占める紙ごみと生ごみの減量に関する啓発を積極的に進めるとともに, 事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の活用等による啓発・指導などを実施したことにより, 本市のごみの受入量は減少し, 一人一日当たりのごみ量は15グラム減少した。このため, 3年連続b評価と安定している。 ●発生抑制等の取組により, リサイクルするごみと処分するごみがほぼ同じ割合で低下したため, 再生利用率は昨年度と同様となり, 目標値には届かなかつたことから, a→b評価となった。 ●本市のごみ焼却量は減少したものの, 昨年に引き続き市内の消費電力削減に努めたこと, 搬入されるごみをより発電効率の高いクリーンセンターで焼却する様に計画したことにより, ごみ1トン当たりの発電量は昨年度に比べ増加し, 3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】ごみを出さないくらしや事業活動, ごみの分別・リサイクルの取組については, 着実に浸透しており, 昨年度に引き続きa評価となった。						

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	31,493	39,749	普通	環境政策局
2	コミュニティ回収等の集団回収事業	54,837	64,386	普通	環境政策局
3	リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	22,609	25,498	普通	環境政策局
4	蛍光灯拠点回収事業	13,645	15,803	良い	環境政策局
5	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	15,846	18,103	良い	環境政策局
6	資源物回収拠点の設置	75,300	79,068	かなり良い	環境政策局
7	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	17,113	18,236	良い	環境政策局
8	有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業	23,723	33,083	かなり良い	環境政策局
9	KYOTOエコマナーの活用～マイボトル持参と衣料品回収行動の促進～	23,835	22,877	かなり良い	環境政策局
10	イベント等のエコ化の推進～イベント等でのリユース食器の普及促進～	15,752	16,146	良い	環境政策局
11	ごみ減量・分別普及啓発経費	18,742	27,363	良い	環境政策局
12	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	9,442	11,023	良い	環境政策局
13	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	8,429	9,076	良い	環境政策局
14	ごみ減量推進会議の活動の支援～市民・事業者とのパートナーシップによるごみ減量活動の推進～	69,836	72,622	良い	環境政策局
15	生ごみ減量推進事業～生ごみ3キロ運動や堆肥化等の取組による生ごみ減量・リサイクルの推進～	39,169	50,803	良い	環境政策局
16	小型家電リサイクル事業	8,725	11,436	かなり良い	環境政策局
17	包装材削減推進京都モデルの構築～容器包装材の削減に関する新たな枠組みの検討～	17,439	-	普通	環境政策局
18	大型ごみのリユースモデル実施	6,268	-	かなり良い	環境政策局
19	事業ごみ減量, 分別・リサイクル対策	70,481	67,043	良い	環境政策局
20	廃棄物排出事業者指導業務(事業系一般廃棄物)	139,645	130,838	良い	環境政策局
21	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	22,582	41,692	普通	環境政策局
22	京都環境保全公社への府市協調支援	1,540,828	1,390,925	かなり良い	環境政策局
23	大岩街道周辺地域対策(岡田山撤去関連事業等)	19,960	35,211	普通	環境政策局
24	廃棄物排出事業者指導業務(産業廃棄物)	51,836	51,995	普通	環境政策局
25	雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業	-	30,067	-	環境政策局
26	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	63,140	460,148	-	環境政策局
27	焼却灰溶融施設整備	15,793	-	-	環境政策局
28	埋立処分地整備事業	265,779	361,711	-	環境政策局
29	バイオマス活用の推進	29,453	37,252	-	環境政策局
30	「みんなで目指そう!ごみ半減!循環のまち・京都プラン」京都府循環型社会推進基本計画の推進	-	47,994	-	環境政策局
31	「京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)」の推進	8,985	-	-	環境政策局

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- ピーク時からのごみ半減に向けて, 更なるごみ減量の取組の推進が必要となっていることから, 今後は, 生ごみ減量や紙ごみ分別などのごみ減量施策を一層推進しつつ, ごみの発生抑制からリサイクルに至る新たな施策の検討を進め, ごみ減量全般について, 新たな枠組みの条例化に取り組んでいく。
- クリーンセンターの施設整備計画を進めていくことにより, 安定したごみ焼却を行い発電効率の向上に努める。
- 以上のことにより, 客観指標の目標達成と市民生活実感の維持, 更なる向上を図る。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
<b>1 指標の説明</b>						
一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	24年度	25年度		数値	根拠	
895	880	15グラム減	876	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	99.5%	
数値	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
750グラム	32年度	82.7%	京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)			
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
最新値－目標値が、 a：0グラム以下 b：0グラム超～65グラム以下 c：65グラム超～130グラム以下 d：130グラム超～194グラム以下 e：194グラム超		当年度の目標値（876グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)の基準年度（平成20年度）のごみ量（1,070グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（65グラム間隔）で基準を設定		24	25	26
				b	b	b
指標名	再生利用率（%）					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
<b>1 指標の説明</b>						
ごみの総排出量に対する再生利用量の割合						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
循環型社会の構築に向けたリサイクルの推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
数値	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
23.5	23.5	増減なし	23.9	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	98.3%	
数値	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
31%	32年度	75.8%	京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>			
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
目標値－最新値が、 a：0%以下 b：0%超～2.0%以下 c：2.0%超～4.0%以下 d：4.0%超～5.9%以下 e：5.9%超		当年度の目標値（23.9%）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画(2009-2020)の基準年度（平成20年度）の再生利用率（18.0%）を下回った場合をeとし、b～dは等間隔（2.0%間隔）で基準を設定		24	25	26
				b	a	b

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)					
担当課	施設管理課	連絡先	212-9820			
<b>1 指標の説明</b>						
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標			算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却等処理量 出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値 24年度	最新数値 25年度	推移 42(kWh/t)増	目標値		
数値	349	391		数値 350	根拠 今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(440kWh/t)に対する当年度の計画値	達成度 111.7%
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値 440kWh/t	目標年次 32年度	達成度 88.9%		根拠 京都市循環型社会推進基本計画<2009-2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満		全クリーンセンターにおける発電量を焼却等処理量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。		24	25	26
				a	a	a